

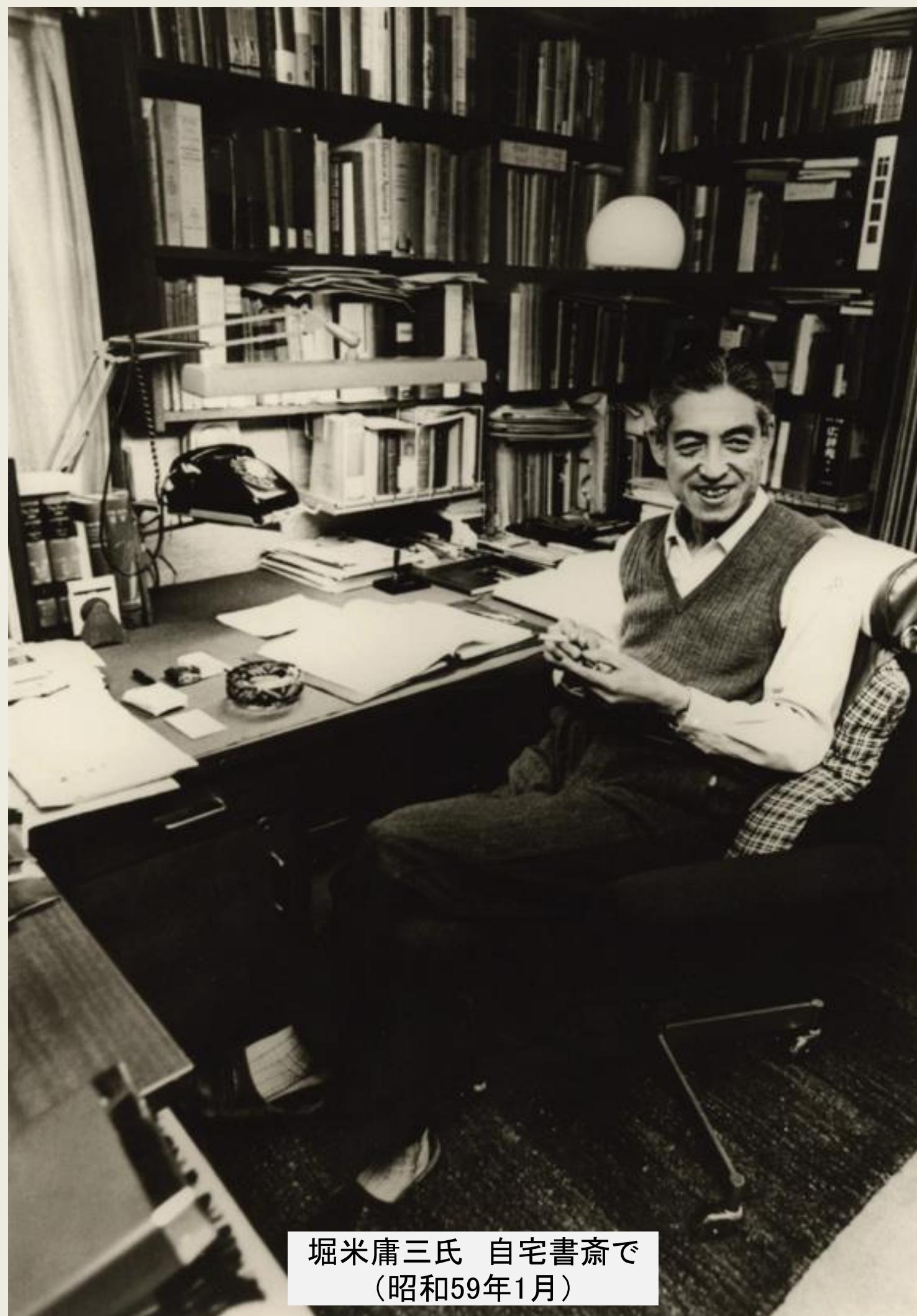
縣人文庫特別企画

# 没後50年 講演会 堀米庸三と私

日時：令和8年3月1日（日）午前10時～正午

場所：山形県生涯学習センター 遊学館（3階 第1研修室）

講師：山形大学名誉教授 松尾 剛次（まつお けんじ）氏



堀米庸三氏 自宅書斎で  
(昭和59年1月)



講師  
松尾剛次氏

講師プロフィール

松尾剛次（まつおけんじ）氏

山形大学名誉教授  
山形大学都市・地域学研究所名誉所長

【専門】  
日本中・近世史、日本宗教史

【略歴】

1977年東京大学卒業。  
1981年同大学院を経て、  
1981年山形大学講師に任用、  
1998年同教授に昇任し、現在に至る。  
東大博士（文学）、東京大学特任教授、  
ロンドン大学客員教授、ニューヨーク州立  
大学客員教授、北京外国语大学客員教授、  
早稲田大学講師などを歴任。

今年、没後50年となる河北町出身の堀米庸三は、戦後のヨーロッパ中世史研究を主導した一人です。

主な著書である「中世国家の構造」によって封建社会の分析を目指し、ドイツ史を中心とした戦後の西欧中世史研究の基礎を築きました。その後、「正統と異端」などで中世文化の新しい理解の方向を提唱し、文明批評にも独自の境地を開きました。

山形県立図書館では、堀米庸三の著作等の展示および山形大学名誉教授 松尾剛次（まつおけんじ）氏による講演会を行います。

内容：県人文庫『堀米庸三 没後50年』講演会 「堀米庸三と私」

第1部「堀米庸三と西欧中世宗教史研究 -日本中世宗教史研究に与えた衝撃-

第2部「日本における中世宗教史研究 -堀米庸三を超える試み-」

定員：先着100名 聴講無料

（事前に[登録フォーム](#)から申込みが必要です）

お申込み  
はこちら

